

## 若者の視点で東海市の良い点・悪い点を考えてみました！

### ～ 第2回 とうかいまちづくり大学 開催レポート ～

2022年1月11日（火）18時半～20時半、東海市立市民活動センターで「とうかいまちづくり大学」を開催しました。この会議は、今後10年間のまちづくりの方針を定める総合計画づくりの一環で開催するものです。東海市にゆかりのある大学生が東海市の未来のまちづくりについて、若者の視点で自由に話し合い、東海市のまちづくりについて提案することを目的としています。2021年11月～2022年3月まで計3回開催する予定です。以下、第2回の会議の様子をご紹介します。

### ■なんでも積み上げゲーム

前回（2021年11月）から、年をまたいで開催ということもあり、久しぶりに顔を合わせるメンバー同士のアイスブレイクもかねて、「なんでも積み上げゲーム」を実施しました。各グループに置かれているペンやテープ、箱等を用いて、どのチームが一番高く積み上げることができるか競うというゲームです。前回の新聞並び替えゲーム同様に、メンバー同士が声を掛け合いながら高く積み上げようと試行錯誤しました。



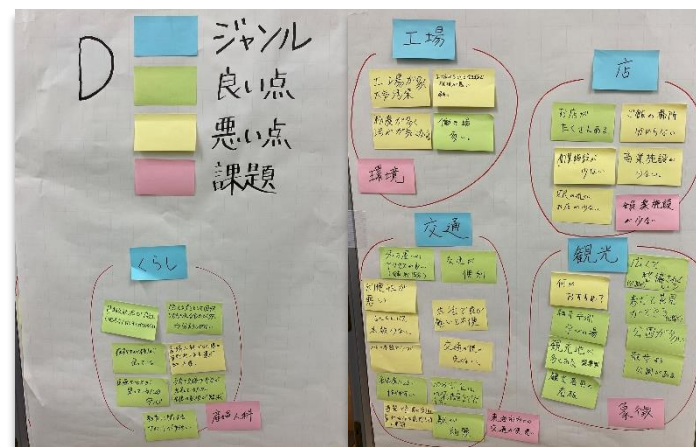
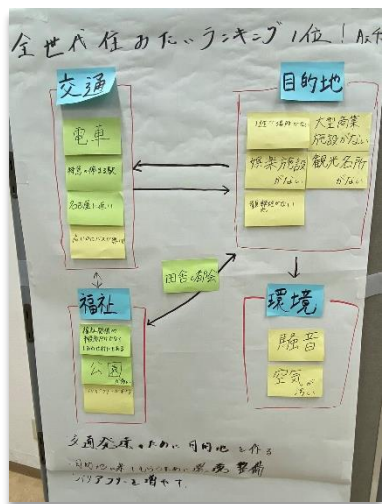
### ■グループワーク①「東海市の良い点・悪い点」



第1回では、10年後の自分の姿を想像し、どんなまちに暮らしたいか、働きたいかということについて考え意見交換をしました。

第2回では、「東海市は暮らしたいまち、働きたいまちになっている？」という視点から、東海市の良い点・悪い点を出し合い、10年後、東海市が暮らしたい、働きたいまちになるにはどうすれば良いのかということについて前回と同じグループで話し合いました。

話し合いで出た意見は、「誰からみて?」、「どんな分野で?」、「ライフステージでいうといつ?」といった様々な切り口から、東海市が今後取り組んでいくべき主要な課題をみんなで整理しました。



### ■グループワーク①の成果発表

第1回にて、「全世代住みたいランキング1位」というキャッチコピーを考えたチームからは、「特急の停まる駅がある、名古屋に近い」といった立地、交通面の良い点があがりました。一方で、「観光名所や、娯楽施設、遊ぶ場所など人が訪れる目的地となる場所がない」という課題が東海市にあり、訪れる目的地となるような環境整備が必要という発表がありました。

観光面については、他方で、「聚楽園などの観光地が多くある、春に花見ができる、細井平洲先生の学びの場がある」など観光の良い所を多くあげたチームもあり、一つの分野に対する参加者の捉え方も様々でした。

交通面についても多くの意見があがり、良い点については、「太田川駅周辺に食べ物屋が多く、にぎわっている」といった太田川駅周辺について意見が多くあがりました。一方で、「駅周辺しか栄えていない」、「バスの本数が少ない」といったことが悪い点としてあがりました。

各グループからの発表に対して、日本福祉大学の千頭先生と星城大学の谷口先生からは、「各グループの内容はキレイだが、面白味がない。電動カーシェアの導入や、空き店舗で学生レストランをするなど、発想の転換をして考えることが大切」というように魅力あるアイデアを出すためのアドバイスをいただきました。



### ■最終回に向けての準備

第1回の結果と、今回のグループワーク①で出された「東海市の良い点・悪い点」をふまえて、第3回（最終回）では、「東海市へのまちづくり提案」を行います。チームごとで充実した提案を行うために、まずは各々で「私のとっておきまちづくりアイデア」を考えてみるという宿題が与えられました。

「東海市へのまちづくり提案」は、市長や副市長、市の職員が提案を聞く予定となっており、次回に向けて意気込む学生の姿も見られました。

